

にらめっこ

発行責任者 廣瀬邦治 印西市木下東4-6-13
TEL 090-1706-2572 E-メール k.hirose8394727@gmail.com
会ホームページ: <http://inzai9jyounokai.webnode.jp/>



核兵器廃絶「人類に必須」 締約国会議 宣言採択し閉幕

米ニューヨークの国連本部で開かれていた核兵器禁止条約第3回締約国会議は7日、核抑止力論を批判し、核兵器の廃絶が「世界の安全保障と人類の生存にとって必須である」と強調する宣言を採択して閉幕しました。

宣言は、現在の国際情勢について「国際法と多国間協力が損なわれつつある」なかで「地政学的緊張」や「核軍拡競争の危険性の高まり」が起きていると指摘。「国際社会に即時、断固とした行動を求めている」と述べています。核兵器保有を正当化する考えである核抑止力論については、「すべての人の生存を脅かす核の危険性の存在を前提にしている」と厳しく批判しています。



7日、米ニューヨークの国連本部、核兵器禁止条約第3回締約国会議

終末時計が過去最短の「残り89秒」に！

アメリカの化学雑誌『ブレティン・オブ・ジ・アトミック・サイエンティスト』が、「人類最後の日」までの時間を示す「終末時計」を1秒進め、今までで最も短い「残り89秒」と発表しました。

1秒短くした理由として、核兵器が使用されるリスクが高まり続けていることと気候変動をあげ、2024年は記録上最も暑い1年だったが、長期的な対策が不十分だと指摘しました。

憲法 96 条改正に意義あり！

日本国憲法は、憲法が簡単に変えられて人権保障が弱められてしまうことのないよう、憲法の改正には各議院の総議員の 3 分の 2 以上の賛成による国会の発議と国民投票が必要であるとしています（96 条）。

この憲法改正手続を定めた 96 条について、国会による発議の要件を、各議員の総議員の過半数に緩和しようという動きがあります。

Point 1

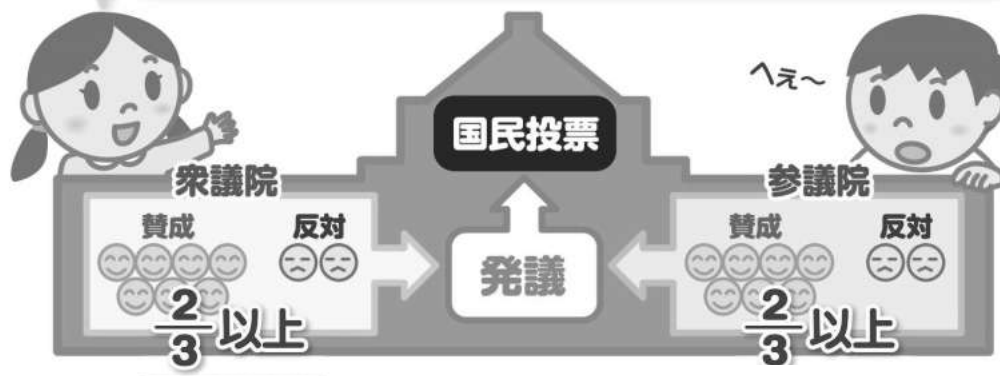
憲法は国の権力者から私たちの人権を守るためにある。(立憲主義)



Point 2

国の権力者は、憲法を簡単には変えられない。

憲法96条は、衆参両議院がそれぞれ総議員の3分の2以上の賛成で、慎重に憲法改正を発議（提案）しなければならないって定めているんだよ。発議されると国民投票にかけられるよ。



【日本弁護士連合会ホームページより引用】

【投稿】

印西市にも9条の碑を

印西市にも是非9条の碑を建てたいと思っています。

全国で次々建立されているニュースを聞きます。

最近完成されたところへみなさんで調査に行くなど全国の色々な情報を取り寄せて学習したいです。国際ジャーナリスト・九条の会世話人の伊藤千尋さんのデータなども大変参考になります。

それにまず建てられる土地探しですが、賛同されている方の中で土地を提供していただける方を探してみませんか？

そして費用の予算をたてて広く市民の皆さんに訴えカンパ活動をはじめめる。みんなでまず計画作りをはじめてみませんか？

高橋ひろみより

103万円の壁について思う

103万円の壁って何だろうと思い調べてゆくと年収の壁は色々ありました。その中でも103万円の壁は非正規・パート労働の最低賃金の引き上げはとても身近かに感じました。また学費や生活費を自分で稼がなくてはならない学生に関しては、103万を超えてももっと働いても大丈夫だよと言うよりは高い授業料の無償化し、給付制奨学金を拡充して、長時間のアルバイトをしなくても済むような学生生活を送らせてあげたいと思いました。それをするのが政治の仕事であり、責任です。

ペンネーム ふむふむより

～ 投稿を募集しています ～

日頃感じていること、ご意見・ご要望など、みなさんの声をお寄せ下さい。テーマ・表題などは自由です。

文字数は800文字以内で、短文投稿でも歓迎です。

ペンネームでも結構です。お気軽に投稿を。

新刊「九条の会ブックレット」のお知らせ

九条の会から新刊ブックレットが発刊されました。

ご希望の方は、印西・九条の会グループLINEから、または印西・九条の会の会員まで、お申込み下さい。とりまとめて九条の会に注文します。

●書名 石破政権の「『戦争する国』づくり改憲」と対決する

●目次 はしがき 小森 陽一（事務局長）

石破政権における改憲、軍拡政策の新局面と私たちの課題

渡辺 治（事務局）

石破『戦争する国』づくり改憲の危険な憲法論と安全保障観

小沢 隆一（事務局）

（資料1）2018年3月25日自民党大会で決定され「条文イメージ（たたき台素案）」

（資料2）2012年 自民党「日本国憲法改正草案」（抜粋）

（資料3）国政選挙における主要政党の比例得票率の推移、投票率の推移

（資料4）国政選挙における主要政党の比例得票数の推移

●発行 2025年1月27日

●サイズ A5判・84頁

●頒価 1冊500円／10冊以上400円（2割引）

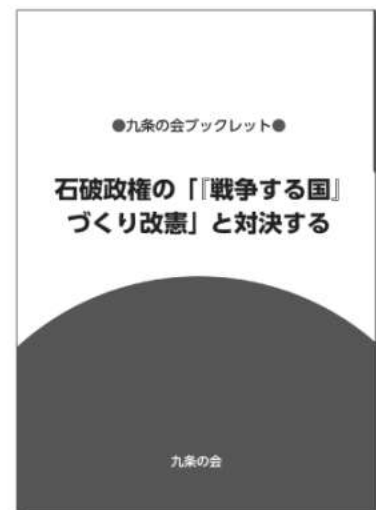
※送料は別途かかります ご注文は九条の会へ▼

九条の会事務局

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-5-7-303

TEL.03-3221-5075 FAX.03-3221-5076

Eメール：sppn3av9@hyper.ocn.ne.jp



編集日誌

▼昨年の総選挙での国民の審判で、自民、公明は「少数与党」となり、衆院では数の力で悪法を通せなくなりました。改憲勢力は、改憲発議に必要な衆院3分の2の議席を下回りました。

▼裏金事件の真相解明と、政治資金パーティー券購入を含む企業・団体献金の全面禁止は、今年も政治の大争点です。

▼新年度予算案は、過去最大の8兆7千億円もの大軍拡予算になっています。武力で平和は守れない、今こそ、憲法9条を生かした外交の力で平和をつくりましょう。

▼印西・九条の会グループ・ラインをつくり、「にらめっこ」読者に招待させていただきました。ぜひご参加ください。みなさんの交流の場としていきたいと思っています。